

○ F A サッカー活動の再開に向けたガイドライン

＜大阪府サッカー協会＞

基本編

大阪のサッカーファミリーを新型コロナウイルスの感染から守る！

大阪のサッカー活動を新型コロナウイルスによって停滞させない！

そのために、いま皆さんに遵守頂きたい行動指針を示します！

2種委員会

大阪高体連サッカー専門部

Vol.1
(2020/7/6)



一般社団法人 大阪府サッカー協会

サッカー活動の再開に向けたガイドライン（2種・高体連）

I. 基本方針

安全最優先	生命・健康の安全を最優先とし、感染拡大のリスクを最小限とする、サッカーファミリーが安全に活動できる環境を提供する
不当な扱い・差別等の禁止	地域の感染状況で生じる活動差をもって選手やチームを不当に扱うことはなく、感染状況に起因する一切の差別や誹謗・中傷の発生を許容しない
リスペクト	関わる全ての方を大切に思い、困難な状況にあるサッカーファミリーに手を差し伸べ、笑顔あふれるサッカー環境を再構築すべく全力を尽くす
「新しい日常・生活様式」への適応	Beforeコロナの「日常」が即座に戻ることは無いということを前提に、置かれた状況の正確な分析・理解に基づくガイドラインを設計する
サッカー界の抜本的見直し	今回のコロナ禍を契機とし、組織の在り方や個別事業の設計について抜本的な見直しを図る（リスクとチャンス）

II. 活動再開時の留意点（5月22日時点）

競技会（国内大会・リーグ）

	47FA/地域FA	JFA
方針	<ul style="list-style-type: none"> 当該都道府県において緊急事態宣言が解除され、会場において十分な感染防止対策が講じられている場合には47FA主催大会開催が可能 都府県間の移動制限が解除され、会場において十分な感染防止対策が講じられている場合には、地域FA主催大会開催が可能 上記大会に参加するにあたり、各チームはコンディションが十分整っていること、日常において新しい生活様式を徹底していること、また保護者が参加を承諾していることが条件 	<ul style="list-style-type: none"> 8月末まで全てのJFA主催全国大会は中止決定済み JFA主催全国大会の開催については下記のポイントを考慮して判断 <ul style="list-style-type: none"> 各都道府県において緊急事態宣言が解除され、参加者の開催地域への移動が可能な状態となっている 開催都道府県が競技会開催を承認している
参考	<ul style="list-style-type: none"> 日本スポーツ協会・日障協 スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン Jリーグ 新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン <ul style="list-style-type: none"> ■ 延期決定済み競技会 天皇杯、高円宮U-18プレミアリーグ、全日本O-50サッカー大会、全日本O-60/70サッカー大会 ■ 中止決定済み競技会 全日本フットサル選手権、全日本O-30/40レディース大会、全日本大学フットサル選手権、全日本U-18フットサル選手権、全日本U-12フットサル選手権（バーモントカップ） 	

Ⅲ. サッカー競技開催時の感染防止策について

1. 事前の対応

会場において感染防止対策に向けた準備を行うとともに、参加チームに対し、感染防止のために選手・スタッフが遵守すべき項目を明確にして事前に連絡し協力を求める。事前・試合日・事後にお互いに連絡を取り合える環境を構築しておく。

(1) 参加者への連絡事項

2種委員会や大阪高体連サッカー専門部は、参加予定チームや運営役員、メディアに対して感染拡大防止のための措置を事前伝達しておく。

①以下の事項に該当する場合は自主的に参加を見合わせる

- ・体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- ・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

②参加者全員がマスクを着用する

③参加者全員の健康チェックリストを作成し提出してもらう

※各選手の健康チェックはチームが実施し、チーム代表者は試合当日、会場責任者へチーム全体の健康チェックリストを提出する

④競技会に参加する上で大阪府サッカー協会及び2種委員会が示す注意事項を遵守してもらう

⑤イベント中に誰とどのくらいの距離で何分くらい話したか、その時にマスクを着用していたかなど、他人との接触状況を記憶しておく。（感染者発生発覚の際の濃厚接触者特定に役立ちます）

(2) マッチ・コーディネーション・ミーティング

3つの密を避ける対策を施し、事前に資料をメールなどで展開し、当日に紙で配布するなど、短時間で終わるように工夫する。リーグ戦など対戦が決まっている場合などは、事前にユニホームなども決定することが望ましい。

2. 試合当日における感染防止対策

(1) 本部テント

本部テントにおいて以下の対応

- ・アルコール消毒液の設置
- ・すべてのドア・窓を開け、3つの密が発生する環境を阻止し、ドアノブを介した接触感染を防ぐ。
- ・暑熱対策のためのドリンクを冷やす場合は、ドブヅケは使用せずに使い捨ての紙コップなどを活用し、レフりードリンクを提供できるように工夫する。（紙コップにドリンクを入れる前に手に消毒することが望ましい）
- ・3つの密が発生する環境を阻止するように座席の設置し、可能な限り前後左右 1.5m～2m 間隔を開け、正面を向き合わないよう配慮する。
- ・暑熱対策上、屋根なしで椅子を並べるのは原則として不可とします

(2) 手洗い場・トイレ

競技会の際に手洗いをこまめに行えるように以下の対応

- ・手洗い場にはポンプ型の液体または泡石鹸を用意する。
- ・「手洗いは30秒以上」などの掲示をする。
- ・アルコール消毒液を設置する。

(3) 更衣室（ロッカールーム）の利用について

更衣室は3つの密が揃うため、感染リスクが比較的高いと考えられているので以下の対応を行う

*会場校の対応として

- ・換気扇を常に回し、2つ以上のドア、窓を開けっ放しにして常時換気を行う
- ・複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手など）については消毒する

*利用するチームの対応

- ・更衣室の利用の際には、顧問が必ず付き添い、広さなどを確認し利用する選手の人数をコントロールする（対戦チームと協力して利用する）
- ・広さにはゆとりを持たせ、選手同士が密になることを避ける。
- ・チームは利用毎にチームが用意した消毒液で消毒する

（４）ベンチ

ベンチを利用したチームは、消毒作業を行って次試合に使用するチームに明け渡すこと

チームの注意事項

- ・各チームは出場する選手の手の消毒や利用後のベンチの消毒を実施するため消毒液を準備すること
- ・選手及びスタッフはマスクを着用し、会話を最小限に留める。
- ・選手及びスタッフはロッカールームの滞在時間を短くするため着替えに限定する。
- ・選手及びスタッフ状況に応じてはシャワーを交代で使用し、密集を避ける。
- ・更衣室を使用する場合、入る人数などをチームで制限し、密を避ける。

（５）来場者対応

原則、新型コロナウイルス感染防止・選手の安全最優先の観点から試合会場への来場は控えてもらう

※来場をする場合は以下の留意事項について、周知徹底する

- ・体調の悪い人は来場を控える
- ・来場する際はマスクを着用する
- ・大声での声援や大旗を使つての応援は行わない
- ・場内ではそれぞれ2mの間隔を保ち、ハイタッチ、抱擁、肩を組むなどの行為は控える
- ・保護者やOB等の車による会場校（1、2回戦）への来場は禁止します。また公営会場での駐車マナーにも注意すること。

（６）各チームへの伝達事項

***実施してもらおう項目**

- ・試合当日までの選手の健康チェックをチームが行い、試合当日に発熱などがあつた選手の参加を許可しないこと
- ・チームの移動の際には、マスクの着用やこまめに手洗いうがいをするようにご指導ください。
- ・試合へは、登録選手20名とスタッフ（補助生徒を含む）10名、計30名までとし、ベンチ内での咳エチケットやマスク着用などの徹底をお願いします
- ・応援の禁止
- ・チームメイト同士、距離を取つて整列しメンバーチェック受ける
- ・試合前、試合後に相手チーム、審判団との握手は実施しない（セレモニーは実施しない）
- ・両チームベンチへの挨拶を実施しない
- ・円陣はしない
- ・得点時にハイタッチ、抱擁を行わない
- ・ベンチでは状況に応じてマスクを着用し、会話を控える
- ・各チームが出したゴミは必ず持ち帰ること

***実施すればより感染防止につながる項目**

- ・ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐く、手鼻をかむなどの行為を行わない
- ・口に含んだ水を吐かない
- ・ボトルを共有しない（クーリングブレイク・飲水タイムの併用などの工夫）
- ・水・氷を溜めたクーラーボックスやタオルを共有しない
- ・ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも互いの距離についてしっかりと配慮する

（７）報道関係者

- ・発熱や風邪の症状がある方は、ご来場をご遠慮ください。
- ・咳エチケットの徹底、衛生面のケアのお願い、マスクの着用をお願いいたします。

3. 事後対応

万が一感染が発生した場合に備え、各チームは選手個々の健康状態や出場選手（いつ、誰が、どの試合に）をしっかりと把握しておく。（記録などを残しておくことが望ましい）

終了後3日以内に、具合の悪い選手・スタッフが出た場合は、委員長の古井まで連絡をすること。

大会期間中また終了後に新型コロナウイルス感染症の感染が判明したチームがあった場合の処置については、当該チーム内の感染状況を確認の上、大会本部が以後の処置などを決定する。

また、運営スタッフの中から競技会終了後14日以内に新型コロナウイルス感染症の感染が判明した場合は、委員長の古井まで必ず連絡をする。

これらを実施しても感染リスクをゼロにすることはできません。主催者、参加チームは、その点を理解した上で、大会に参加してください。

また、運営関係者及びチーム関係者全員にマスク着用を義務化することにより、熱中症を発症するリスクが高まります。こまめな水分補給を心掛けましょう。

新型コロナウイルス感染状況により、ガイドライン内容に追記されることがあることも併せてご理解ください。